



頭部や背鰭には独特な模様があり、他の同属種との識別は容易。福井市産 全長：約10cm

ハゼ科 ヨシノボリ属 【全長】10cmを超える

ゴクラクハゼ

学名：*Rhinogobius similis*

分布域

秋田県・茨城県以南の本州・
四国・九州。

生息域

主に河川中流域～汽水域の
砂礫底部に生息する。



頭部は大きく斑紋は独特。

頭頂部には眼の直後まで鱗があり、腹鰭は幅より長さの方が大きい。頬部の独特で複雑な斑紋が特徴的。体側には5～7個の黒褐色の縦斑があり、瑠璃色に光る小さな斑点が視られる。流水域に生息するが急流部には視られない。食性は雑食性で底生動物主に付着藻類などを食べる。産卵期は夏～秋で、砂に半分埋まった転石の裏面に産卵する。産卵後もオスが単独で卵を保護する。孵化した仔魚は海に下り、2～3cmに成長した秋～初冬に汽水湖や河川に遡上する。両側回遊魚。

水槽での飼育は可能。飼育水は真水～海水比10%前後の汽水を用いる。餌は配合飼料や冷凍赤虫に慣れる。比較的丈夫。

在来種

回遊魚

※ ヨシノボリ仲間では頭部が大きく識別は容易。汽水域から淡水域まで広く生息し、福井県内では生息地・生息数とも比較的多く、よく視かける。